

## 令和5年度 第1回下野市スポーツ推進審議会 会議録 【要旨】

- ・日 時 令和6年3月11日（月）午後3時～午後4時
- ・場 所 下野市庁舎3階教育委員会室
- ・出席委員 吉澤委員、増淵委員、中川委員、大山委員、五月女委員、田熊委員、村尾委員、青柳委員
- ・出席職員 近藤教育次長、伊藤課長、渡辺課長補佐、石塚副主幹、飯野副主幹
- ・傍聴者 なし

### ○次第

1. 開 会 (委員総数8名中8名の委員が出席し、審議会が成立している旨を報告)
2. 委嘱状交付 (委員に委嘱状を交付)
3. 教育長あいさつ (代理：近藤次長よりあいさつ) ※あいさつ後、公務のため退席
4. 委員及び職員紹介 (出席委員及び出席職員あいさつ)
5. 会長の選出 (会長：吉澤委員)
6. 会長あいさつ (吉澤会長よりあいさつ)
7. 副会長の選出 (副会長：増淵委員)
8. 議 題 議事の進行については規約に基づき、会長が行う。  
会 長 議題（1）スポーツ振興課組織について事務局の説明を求める。  
事務局 スポーツ振興グループ所管事業を資料1により説明  
会 長 事務局の説明について、意見・質問はあるか。  
無いようなので、続いての議題（2）令和5年度スポーツ振興課事務事業の実績報告について事務局に説明を求める。  
事務局 実績報告①スポーツ振興グループ所管事業を資料2により説明  
会 長 事務局の説明について、意見・質問はあるか。  
無いようなので、実績報告②施設管理グループ所管事業の説明を求める。  
事務局 実績報告②施設管理グループ所管事業を資料3より説明  
会 長 事務局の説明について、意見・質問はあるか。  
私からひとつだけ話をしたい。工事の際に強風などで足場が倒れるなどの恐れがある。2次災害に気を付けて管理をお願いしたい。  
それでは次の議題に入る。（3）スポーツ推進計画の取り組み状況について事務局の説明を求める。  
事務局 (3) スポーツ推進計画の取り組み状況についてを資料4より説明  
会 長 事務局の説明について、意見・質問はあるか。  
大山委員 亘理町のスポーツ交流事業について、現在、市では取り組んでいないが、私が指導しているクラブチームで継続して交流を続けている。  
会 長 他県との交流は、市として良いことだと考えている。できるだけ長く継続してお付き合いできるようにお願いしたい。特に下野市は県内でも小さな市なので、そういう意味では色々なニーズに応えられるような多様性を持った市になってもらいたい。特にスポーツは、様々な場面で繋がりを持っていけるため、引き

続きよろしくお願ひしたい。

村尾委員 先日開催された下野市オープンキンボールスポーツ大会について、県外から非常に沢山のチームが参加されていて、よく集まったと感心している。事務局の苦勞があったと推測している。

事務局 キンボールを通じた交流については、市のスポーツ推進員が東京や宮城の大会に行ったり、また、平成23年度の全国スポーツレクリエーション祭では、下野市はキンボールを実施し、その際に東京都キンボールスポーツ連盟にお世話になり、今でも非常に気にかけて市をサポートしてくれている。

会 長 昨日開催された下野市オープンキンボールスポーツ大会について、荒川区からも参加があり、メジャーなスポーツではないが、間近で見るとかなりハードなスポーツだなと感じる。これから少しずつでも普及して行って、メジャーなスポーツになっていければ良いと考えている。スポーツ推進委員会の会長である副会長をはじめ、スポーツ推進委員には頑張っていたいただき、今後について期待している。

大山委員 施設の充実について事務局に伺いたい。障害者やトイレの表示など、目に見える部分が良くなっていることは理解できるが、実際に使う側への対応について、どうしても気になることがあり、例えば、フィールドがめくれてとか何かが飛び出したりして使えないとか、フィールドが一番安全であることが重要であり、そうしたことが利用者の気持ちを左右させてしまう。一番重要な根底の部分の充実してほしいと考えているが、事務局はどう考えているか。

事務局 管理する側としては、常々の課題と考えている。市の施設の場合には、競技を実施する屋外施設等にそうしたことが起こりやすく、競技によって向き不向きがあったり、他には、利用者の方には、使用した後にグラウンド整備をお願いし、徹底していきたいが、今後はもう少し管理する側についても、空いている時間などに、車でレーキを引いて均したり、ブラシをかけるだけでも違うと思うので、小まめに対応していきたい。

大山委員 管理の仕方が違うのか。真岡地区だと毎週のようにトラックを使っている。大松山に来ると、フィールドを休ませている時間がかかなり多く、利用頻度が少ない。フィールドを休ませて、すぐ使えるように、利用頻度が上がるようにサイクルを考えてほしい。広くPRできるように使っていければ良いと考えている。

会 長 国体の前に芝生がかかなり剥げてしまっていて、施設係を含めた当時の市長にかかなりの予算を付けてもらい養生し、国体の時は綺麗な芝生にしてもらったという経緯がある。栃木県サッカー協会の審判部からも、とても素晴らしいグラウンドでありがとうございましたと感謝された。国体サッカー準決勝まで、怪我もなく無事開催できたことは、市の職員も含めて、私からは感謝の言葉しかない。

ここからは、私の独り言だと思って聞いていただきたい。天然芝は養生期間が必要となってくる。栃木県内の主要な地域を比べると、人工芝のグラウンドを持っていないのは下野市だけである。10年スパンで張替えが必要だが、そうしたグラウンドがひとつあるかないかで、大きく違ってくる。夜でも使えるということで、照明も必要になる。そうなれば一種の社会人も含め、二種の高校、三種の中体連、四種の少年から女子まで、皆が使えるようになる。私に関わっているうちにぜひ、作ってもらいたいと考えている。これは私の独り言なので、

聞き流してもらいたい。

天然芝でいうと、昔、平出のサッカー場は使用頻度が高かったため、芝がかなり剥げてしまい、2年で駄目になった。それからしばらく土にしたが、土ぼこりが街中に流れ込み、かなり舞ってしまったため、10年ほど前に人工芝に張り変えた。使用頻度と費用対効果を考えた場合、天然芝も良いが、人工芝もあった方が、市の活動が広がっていくものと個人的に考えている。今後、皆様のご協力が必要になってくると思う。その際はどうぞよろしくお願いします。

田熊委員 夏場の熱中症対策について、他の地域では体育館にエアコンが設置され始めているが、下野市ではどう考えているか。

事務局 昨年の夏は暑かったため、いたるところでそうした要望があった。確かに、運動や健康増進といった部分でみると、熱中症対策の環境の整った施設で行うことが良いと考えているが、悲しいかな、施設が多い、予算的なものもある、空調を導入しグレードアップしていくことと、競技者・利用者が安全安心に利用できることを天秤にかけた場合に、やはり既存のもので安全安心に利用できるようにすることを優先せざるを得ない。そうすると優先的にはなかなか難しいというのがひとつ。また、市の体育施設の費用対効果について、冷やすまでの時間を考えた場合、結果的に管理するのが難しくなる。苦肉の策として、運動する側が、小まめに休憩を取っていただく。昨年度から各施設に導入した大型の扇風機を活用し、涼みながら休憩を取っていただく。また、競技中も扇風機を回しながら、運動していただく。施設の数に対して、まだまだ扇風機も足りない状況ではあるが、そういった運用で対応していきたいと考えている。ただ、将来的には、大会でエアコンが必要になってくると思うので、エアコン完備については、当然今後の検討課題になってくるものと考えている。

五月女委員 小山市では、体育館を利用する場合には、夏場でも冬場でも、冷暖房費を利用者に一人いくらかで負担させている。下野市では一括で決まっている。そういった料金の運用面も考えていく問題だと考えている。

会 長 良い環境を提供するという面では素晴らしいことだと思うが、やはり選手ファーストが大切。去年・一昨年の暑さは異常であった。屋外の話をする、実際に、昨年の夏に社会人サッカーで、冷水を体に浴びて亡くなった方がいた。それにより急遽、昨年の8月はサッカーを一切やっては駄目になった。少年の部までは話は行っていなかったと思うが、そうした事例もあるため、また今年猛暑となった場合には、選手を守ること、特にこれからの市の将来を背負って立つ子供たちを守ることが大切。周りはそれを注意して見守っていく必要がある。それにより、下野市が発展していくものと考えている。

事務局 スペックが良くなれば、ある程度受益者負担が増えるというのは仕方ないのかなど。宇都宮なんかは、コンセント一つで料金を取っている。下野市は、ナイターは別だが、冷暖房とか電気使用とか施設利用料の中に含まれている。現在はそういう形でやっているため、大規模改修をしてスペックが上がって、それなりの必要経費が出てきたら、料金改定も視野に入れて受益者負担を検討していかなければならないと考えている。

会 長 屋内施設の運用では宇都宮が進んでいるのか。

事務局 屋内施設の空調という面では、確かに進んでいるように思う。

会 長 確かに人口が多いという面では比較にならないが、そういった大きい街に勝て

るというものがスポーツである。そして下野市は非常に立地が良い。東京にも近い。悪いところを指摘するのではなく、良いところを伸ばすということに着目している。私はライセンスの資格も持っていて、子供たちを教えると時には、それが駄目だということで怒るのではなく、それを良い方向に、自分のストロングポイントをどんどん伸ばしてあげる。そういう教え方をしている。だから、下野市だって良いところいっぱいありますから。

大山委員 少年の部の茨城・埼玉なんかも、今年あたりから、7月8月はやるなっていう通達が出ている。

会 長 だから、頑張ってもらっても、命を落したのでは元も子もないから。

大山委員 そうだね。

青柳委員 ちょっとよろしいか。大山委員に質問がある。昔、うちの自治会でもスポーツ少年団のクラブに補助を出していて、そのスポーツ少年団というものが具体的にどういった仕組みなのか伺いたい。

大山委員 うちのクラブの会員から会費を募り、また、スポーツ保険に入って取り組むという形になっていて、その一部も、市スポーツ少年団から補助があったり、そうした形で活動している。

青柳委員 うちの学校にクラブがあったが、スポーツ少年団の活動が無くなったか何かで、実態がよくわからないもので。

大山委員 以前は学校からスライドした形で少年団ということになっていたが、今はいろいろな団体が個人でサークルを作って、10、20で登録してっていう形になってきて、学校のものではなくなっている。現在、下野市には43団体ほどある。

青柳委員 うちのところはもう活動していないのかな。うちの自治会から地元のクラブに補助を出す予算になっているが、活動していないならもう出さなくても良いのではないかと。

大山委員 仮に活動していたとしても、代表が変わってそうした仕組みを把握していない可能性もある。活動していれば、引き続き自治会から補助を出すことで良いのではないかと。

会 長 次の議題に入る。(4) 令和6年度スポーツ振興事業のスポーツ振興課の事業概要について事務局の説明を求める。

事務局 (4) 令和6年度スポーツ振興事業○スポーツ振興課の事業概要①スポーツ振興グループ所管事業についてを資料5より説明

事務局 (4) 令和6年度スポーツ振興事業○スポーツ振興課の事業概要②施設管理グループ所管事業について事務局より説明

会 長 事務局の説明について、意見・質問はあるか。無いようなので、(5) その他について事務局の説明を求める。

事務局 (5) その他○令和6年度スポーツ振興課年間行事予定(案)について、別紙A3版の資料をご覧いただきたい。年間行事について記載がある。ほぼこのスケジュールで進めていく予定である。各大会・行事等関係者の皆様には今後通知をさせていただく。

続けて、○第2次下野市スポーツ推進計画の策定について、冒頭でも触れたとおり、現在のスポーツ推進計画の期間が令和8年3月末までとなっており、今後、第2次下野市スポーツ推進計画の策定に向けて、令和6年度に見直しを始

め、令和7年度に策定を完了するスケジュールで考えている。また、策定に向けては前回の策定時同様、当審議会場で検討させていただき、皆様には策定委員をお願いしたいと考えている。引き続きご協力をお願いしたい。

会 長

他に意見・質問はあるか。無いようなので、最後に私から一言。

コロナ禍が過ぎ去り、令和5年度になって一気に事業が動き出した。実際にこの4, 5年の間、スポーツ振興課の職員さんも、ほぼ携わっていなかった業務も一気にやるような形になった。これに関しては、非常に負担になったと思う。私は会長として前から見ているが、まあお飾りなので見てるだけでしたが、ずっと携わってきたので言わせていただきたい。一気に行事をガツンではなく、もうちょっとソフトランディングで少しずつやっても良かったのではないかと。市民体育祭も縮小はしながらも無事成功裏に終わった。県民スポーツ大会も含めて、各種大会についても無事終了した。県の大会については、福田知事がやるっていうから仕方なかった。それにしても、もう少しソフトランディングでも良かったのではないかと。いいからやれっていう意見もあるとは思いますが、私はほぼほぼ大会や行事に参加させてもらったため、職員の負担という部分が、ちょっと残ったかなと考えている。

他に質問等がないようなので、議題を終了する。

## 9. 閉会

事務局

以上で令和5年度第1回スポーツ推進審議会を終了する。ありがとうございました。